

保護者とのコミュニケーション



子どもたちの生活とともにある「食」

食事、運動、睡眠を繰り返しながら、子どもたちは毎日の生活リズムを形成していきます。その中で、食事の役割はおなかがすいて食べる食事の美味しさを実感しながら、食への興味・関心を高めていきます。また、食事の役割として、精神発達にも寄与することが示されています。家庭や保育園での食事を通じて、子どもたちは食事に対する好奇心が強くなり食事は子どもにとって探索活動の重要な場でもあるのです。子どもたちは食欲が満たされ、家族から「おいしいね」と言ってもらいながら、食の満足感とともに人との共感を体験していくことになります。手づかみからスプーンや箸などの食具を使って食べるなどの能力も発達させていきます。家族の見守りの中での食事は、子どもが安心感や信頼感のもとに自分で食べる達成感や満足感もいっしょに味わっています。そこから自分への自信や安心感を高めていくことが自己肯定感へとつながっていきます。夏になると暑さで食欲がおちていくこともありますが、気持ちだけは余裕をもって食事の時間を大切にしていきたいでしょう

日	曜	7月の行事予定	日	曜	8月の行事予定
6	水	七夕会	8	月	身体測定週間
11	月	身体測定週間	11	木	山の日
18	月	海の日	13	土	お盆 給食なし(弁当・水筒持参)
25	月	集金日(お釣りのないようお願いします)	15	月	お盆 給食なし(弁当・水筒持参)
28	木	避難訓練(火災・通報訓練)	16	火	お盆 給食なし(弁当・水筒持参)
			23	月	避難訓練(大雨・浸水)
			26	金	集金日(お釣りのないようお願いします)



7月7日は七夕です。織姫と彦星が1年に1度、天の川で会える日です。子どもたちの短冊にも思いがたくさん詰まっています。園では、6日に、たなばた会をして楽しい時間を過ごしたいと思います。ご家庭でも、お子さんと一緒に夏の夜空をじっくり眺めてみるのもいいですね!

これから暑さも本格的になってきます。保育園では、夏ならではの楽しい遊びをたくさん企画しています。みんなで思いっきり楽しむためにも、健康管理には十分気を付けていきましょう。保育園でも冷房を使用しながら、快適に過ごせるように心がけています。保育室は常時、窓を開け、換気をしながらの使用です。玄関ホールにも冷房を入れています。園に入った時にはひんやりと感じられるかもしれませんが、保育室は冷えすぎないように気をつけています。

気をつけたい 夏風邪

いんどうけつまくねつ 咽頭結膜熱(プール熱)

その名のとおり、のど(咽頭)と目(結膜)に炎症が起こり、高い熱が出ます。うつりやすいため、家族みんなでこまめに手を洗い、タオルなどを共有するのはやめましょう。

ヘルパンギーナ

突然高い熱が出て、数日続きます。口の中に水ぶくれができ、2~3日ほどで破れて潰瘍かいようになって痛みます。原因となるウイルスが複数あるため、繰り返しかかることがあります。

手足口病

最初に口の中にポツポツができ、痛みのため飲んだり食べたりするのをいやがります。このときに熱が出ますが、半数は熱を伴いません。その後、手のひら、足の裏に赤っぽい水ぶくれができ痛みます。原因となるウイルスが複数あるため、何度もかかる可能性があります。

おうちで休むときは……

水分補給をしっかり

暑さや熱で水分が失われると、口の中やのどに痛みが出やすく、食べるのをいやがりがち。アイスクリームやゼリーなど、口当たり、のどごしのよいものを少しずつとらせるか、脱水にならないように水分だけは飲ませるようにしましょう。



特徴

- ・38~40度の高い熱が数日続くことも
 - ・のどが痛む
 - ・白目が充血(赤くなる)し、まぶたがはれる、涙や目やにが出る
- 【登園再開の目安】
熱や目の症状が治まった後、2日が経過したら

特徴

- ・口の中、のどに白っぽい水ぶくれができる
 - ・高い熱が数日続くことが多い
- 【登園再開の目安】
熱や口の中の水ぶくれ・潰瘍かいようが治まり、普通の食事がとれるようになったら

特徴

- ・口の中のポツポツが痛むため、飲んだり食べたりするのをいやがる
 - ・手のひらや足の裏にポツポツができる
- 【登園再開の目安】
熱や口の中の水ぶくれ・潰瘍かいようが治まり、普通の食事がとれるようになったら



回復するまで

夏風邪は、どれも特効薬はありません。休むことがいちばんの薬です。しっかり休んで回復させるほうが、ぶり返しにくく、長引きません。